

# ご挨拶

彩企業年金基金  
理事長 北林 辰哉  
(株式会社 丸一)



事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、彩企業年金基金の理事長に就任させていただきました北林でございます。宜しくお願ひ申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、彩企業年金基金は、昭和42年2月に設立しました埼玉機械工業厚生年金基金の後継制度として、平成29年4月に厚生労働省の認可を受け設立いたしました。

これまでも厚生年金基金時代に、機関誌「むさしの」等でご案内しておりましたとおり、平成25年6月19日成立の「厚生年金基金制度の見直しに関する法律（公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律）」により、厚生年金基金の存続には非常に厳しい条件が課されることになりました。そのことを受け、理事会・代議員会で検討を重ね、事業所の皆さまにご理解・ご協力をいただき、設立することができました。

無事、新基金を立ち上げられたのも偏に事業主さま、加入者の皆さまのご厚誼の賜物と厚く御礼申し上げます。

この度名称変更も行い、装いも新たに業種や地域にこだわりなく、安定した企業年金を目指しております。

彩企業年金基金は、退職金制度に類似した「確定給付年金（以下DB）」と日本版401kと言われる「確定拠出年金（以下DC）」の2制度を併せ持ち、事業所さまのニーズに応じて、DB・DCの組合せが可能である「ハイブリッド」な企業年金となっており、より持続性の高い、リスクを抑えた制度となっております。また、来年度よりDC制度を実施の事業所さまでは、事業所さま負担分にさらに追加して加入者さまが掛金を拠出できる「マッチング拠出」の導入を予定しております。

これからも事業所さまの更なる発展と、そこで働く加入者の皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、いっそう業務に邁進する所存でございますので、どうかこれまで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。